

愛知県「基幹的広域防災拠点」・豊山町「避難所等」の概要について

愛知県「基幹的広域防災拠点」と豊山町「避難所等」の計画概要、現地測量のお願いについて配布資料（別紙2参照）に基づき説明しました。

1 愛知県「基幹的広域防災拠点」（スライド1～21）

愛知県「基幹的広域防災拠点」の計画概要につきましては、愛知県より説明いたしました。

- 「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」では、愛知県だけで東日本大震災に匹敵する被害が想定されています。
更に愛知県では地震だけでなく風水害に対する備えも求められます。
- 南海トラフ地震やスーパー伊勢湾台風等の大規模な災害に対応するためには、「愛知県全体の災害対応力」の強化が急務です。このため、災害発生後ただちに、救出・救助部隊を現地に投入し応急復旧活動を展開、緊急支援物資の輸送を実施することができる「基幹的広域防災拠点」が必要です。
- 「基幹的広域防災拠点」は国において首都圏と京阪神圏の2か所に設けられているものの、南海トラフ地震やスーパー伊勢湾台風等の被害が予想されている愛知県を含む中部圏においては、整備されていません。
- そこで、愛知県において、県内約130か所の防災活動拠点の後方支援にあたる「基幹的広域防災拠点」を整備し、県内全域の災害応急体制を確保していくこととしました。
- 「基幹的広域防災拠点」の整備候補地として、高速道路と空港とのダブルアクセス性、地震時の液状化リスクや風水害時の浸水リスクが低い「名古屋空港北西部」を選定しました。
- 「基幹的広域防災拠点」の災害時利用については、救出・救助部隊の一時集結・ベースキャンプや救援物資の集積・分配、災害医療支援等に活用します。
- 平常時には、神明公園の機能を確保し、継続利用できるようにするとともに、町民、県民の憩いの場として利用できる公園を整備していきます。また、救出・救助部隊のベースキャンプや物資中継施設を公園内のスポーツ施設として活用していきます。
- 災害時の指揮運用施設は、消防学校を活用することを予定しています。さらに防災啓発施設も検討していきます。

2 豊山町「避難所等」（スライド22～28）

町「避難所等」の計画概要につきましては、町より説明いたしました。

- 豊山町「第5次総合計画」に基づき、町内の防災体制の強化のため、避難所機能の充実強化、新たな避難施設の設置により災害対応能力の向上を図ることとしています。また豊山町地域強靱化計画では、避難所施設が不足する地域について、新たな避難所を整備することとしています。

- 豊山町内の大山川北側の地域は、徒歩圏域に避難所がない区域があるため、新たな避難所整備を検討します。平常時には、多世代が交流できるアリーナ（体育館）として整備を検討します。
- 平常時は県の「基幹的広域防災拠点」は公園、スポーツ施設、町の「避難所」はアリーナを予定しており、町内外から多くの方の来訪が予想されます。このため、来訪者をおもてなしするための賑わい施設を検討していきます。

3 今後の予定（スライド29，30）

今後の予定について愛知県より説明いたしました。

- 令和4年度の都市計画決定に向けて調査設計を進め、令和7年度末の完成を目指して整備を進めていきます。用地につきましては、令和5年度末までにはお譲りいただきますよう、ご理解ご協力をお願いします。
- 「基幹的広域防災拠点」の整備エリアを確定させるために現地の地形測量を実施します。測量作業は愛知県が委託した業者が行います。作業員は愛知県が発行した身分証明書を携帯します。

説明会の概要につきましては以上のとおりです。

愛知県の基幹的広域防災拠点・豊山町の避難所等の整備事業にご理解ご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。